

令和 5年度予算見積調書

課室名：生産振興課

担当名：主穀担当

内線：4145

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P66	県産米競争力強化プロジェクト推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	米麦産地育成対策費		
事業期間	令和3年度～ 令和7年度	根拠 法令	なし			針路 分野施策	12 1202	儲かる農林業の推進 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール 2 SDGsターゲット 2-1, 2-3, 2-4	
1 事業の概要	<p>主食用米の需要が減少する中で、県産米の消費拡大・ブランド定着を支援していくことで、米価下落や産地間競争に打ち勝てるよう競争力強化を図り、県産米全体の評価を向上させ、主食用米が「儲かる農業」となるよう支援する。</p> <p>ア 販売促進対策事業 5,454千円 イ ブランド定着支援事業 4,775千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 販売促進対策事業 5,454千円 プロモーション活動等を通して、県産米の販売促進・消費拡大を推進する。</p> <p>イ ブランド定着支援事業 4,775千円 「彩のきずな」統一デザインの使用管理要領に基づく運用等により、県産米のブランド定着を図る。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>「彩のきずな」新規販売店舗における販売キャンペーン 年間25店舗以上 SNS媒体での情報発信 週1～2回 インターネット、テレビ、ラジオ等による広告 1～2か月以上 県産米良食味生産実証ほの設置 13か所以上</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>県産米の消費が拡大し、ブランドが定着することで、県産米全体の競争力強化・評価向上が図られ、主食用米の生産が「儲かる農業」となる。</p> <p>ア 新規常設販売店舗数 37店舗（令和3年度）→100店舗（令和7年度） イ 「彩のきずな」の県民認知度 27.7%（令和2年度）→50%（令和7年度）</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <p>J A等農業団体との連携</p>						
2 事業主体及び負担区分	<p>ア (県 10/10) イ (県 10/10)</p>									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×1.2人=11,400千円									
予算額		財源内訳							一般財源	前年との 対比
決定額	10,229								10,229	△2,515
前年額	12,744								12,744	

事業内訳書

事業名	県産米競争力強化プロジェクト推進事業		
単位事業名	販売促進対策事業	予算額	5,454千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	120	△120	販売促進活動費 2千円×2回×30店舗
需用費	328	△70	消耗品、販売促進用資材
役務費	46	△3	販売促進用資材送料
委託料	4,960	△2,200	プロモーション活動業務委託 900千円 販売促進活動業務委託費 4,060千円
合計	5,454	△2,393	

単位事業名	ブランド定着支援事業	予算額	4,775千円
-------	------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	20	0	選定委員謝礼 20千円×1人
旅費	48	△116	普通旅費(県内：公用車) 200円×2人×10日×8ヵ所 普通旅費(県内：公共交通機関) 1,980円×2人×2回 事業打合せ 200円×10人日×4日

単位事業名	ブランド定着支援事業	予算額	4,775千円
-------	------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	92	3	消耗品、パンフレット印刷代、自動車燃料費
役務費	5	△9	通信費
委託料	4,600	0	SNS運営業務委託費 4,000千円 消費拡大・食味向上運営業務委託費 600千円
使用料及び賃借料	10	0	PR活動等説明会会場費 10千円×1回
合計	4,775	△122	